

一般相談支援事業について

集計期間：平成28年1月から5月
対象事業所：委託相談支援事業所

①相談人数

	障がい児								障がい者							
	身体	重心	知的	精神	発達	高次脳	その他	合計	身体	重心	知的	精神	発達	高次脳	その他	合計
ハートランド	13	0	3	0	3	0	0	19	146	0	4	0	0	0	2	152
サンフレンド	4	0	26	0	0	0	1	31	8	3	79	14	1	0	4	109
本庄プラザ	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	8	211	14	6	1	252
ふれあい総合相談支援センター	13	4	29	4	21	0	0	71	55	8	67	125	0	1	11	267
合計	30	4	58	4	24	0	1	121	221	11	158	350	15	7	18	780

②支援方法

	訪問	来所	同行	電話	メール	個別支援会議	関係機関	その他	合計
ハートランド	24	34	3	323	0	2	92	25	503
サンフレンド	49	22	4	363	7	25	69	1	540
本庄プラザ	140	127	12	502	12	4	375	0	1,172
ふれあい総合相談支援センター	167	106	63	414	1	46	693	27	1,517
合計	380	289	82	1,602	20	77	1,229	53	3,732

③支援内容

	サービス利用	障がいへの理解	健康医療	不安の解消	保育教育	家族関係 人間関係	家計 経済	生活技術	就労	社会参加 余暇活動	権利擁護	その他	合計
ハートランド	325	8	38	9	24	7	0	21	0	4	7	60	503
サンフレンド	267	1	27	13	43	44	1	16	87	0	1	40	540
本庄プラザ	257	155	146	252	1	85	25	96	53	41	8	53	1,172
ふれあい総合相談支援センター	642	54	270	75	24	174	113	77	47	10	3	28	1,517
合計	1,491	218	481	349	92	310	139	210	187	55	19	181	3,732

④特色及び傾向

ハートランド	サンフレンド
<ul style="list-style-type: none"> 補装具等の利用について、本人や家族の代わりに書類上の代行手続きや調整など行ったケースが増えている。(重度化・高齢化している) 障がい児について、家族の就労や療育を目的とした通所系のサービスの利用援助の相談が増えている。(関係機関や親のロコミなどにより連携が取りやすくなってきている) 既存利用者が、ADLの低下に伴い医療ケアが必要となり、今後の生活を総合的にマネジメントすることが必要となったケース。(身体障がい者が医療機関へ入院) サービスを既に利用している方で、サービス利用について事業所と課題があり、課題解決に向けた対応を行ったケース。(対人関係の関連) 	<ul style="list-style-type: none"> これまで一般相談で関わってきた方の継続した就労や生活への支援。 障がい者、障がい児において短期入所や入所についての相談。 高等部卒業による進路相談。 保護者の高齢化に伴う家族への支援や、ご本人に強度行動障がいがあり、ご家族の限界もあり、在宅困難となっているケースの支援。 計画相談が進み、新規の相談は減っている。
本庄プラザ	ふれあい総合相談センター
<ul style="list-style-type: none"> 不安解消のための電話相談が多い。 役所から届いた書類の内容が分からないため、「教えてほしい」という相談も多い。 高齢者の支援機関より、「要介護者の家族に精神障がい者がいる。課題があるので支援に入ってもらえないか」との相談が3件ほど続いた。 	<ul style="list-style-type: none"> 障がい種別や年齢に関わらず、相談が多い。 民生委員、地域包括支援センター、ケアマネジャー等と連携した相談が多い。 障がい児、者とその家族への支援として関わるケースが多い。 金銭管理や身元保証、成年後見制度等権利擁護に関する相談が多い。 虐待や養護者の急病等への対応など緊急性の高いケースが多い。 病院への受診同行するケースが多い。 ゴミ屋敷や近隣から木の枝葉が敷地に入ってきているとの相談から木の伐採等に関わるケースが多い。